

## 第45回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成22年12月9日(木)～11日(土) 10:00 ～ 18:00

エコプロダクツ 2010(東京ビッグサイト 東展示棟) JAEA 展示ブース

### 2. 来訪者:約20名

### 3. 説明概要:

東京ビッグサイトにて開催されたエコプロダクツ2010のJAEA展示ブースにおいて、来訪者に資料を配布し、イーター計画の説明およびイーター機構職員募集の案内を行った。

### 4. 主なQ&A

Q:イーター建設予定地のカダラッシュはフランスのどこにあるのですか？

A:イーター建設予定地は、南仏プロバンス地方にあるフランス原子力庁(CEA)カダラッシュ研究センターに隣接しています。最寄りのマルセイユ・プロバンス空港からカダラッシュまでは70 kmほどあり、車で1時間程度かかります。カダラッシュの近くの町としては、南西に40 kmほど離れたところにエクサンプロバンス、また北に20 kmほど離れたところにマノスクがあります。

Q:イーター機構職員に応募するとき、核融合に関する職務経験は必要でしょうか。核融合の物理や工学とは関係ない分野でも職員募集はありますか？また、事務職も募集があるのでしょうか。

A:ITER 機構が募集するポストは、核融合に関する研究実績がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。また、人事や財務、契約などの事務系の職員も募集しています。募集ポストの Job Details に記載された職務経験や専門性をご覧いただき、ご自分の職歴・専門性に合致するポストに積極的に応募して下さい。

現在募集中のポストについては、以下のページをご覧の上、ご確認下さい。

イーター機構 職員募集のページ(英語)

<http://www.iter.org/Pages/Jobs.aspx>

Q:ITER 機構では、ポスドク等の若い研究者も働いていますか？

A: ITER 機構の職員採用は、通常、実務経験を必要としますが、モナコ公国との協定に基づき設立された博士研究員の採用枠(ポスドク・フェローシップ)もありますので、これらの制度により採用された若い研究者の方々も働いています。

Q: フランス語が話せることは、必須ですか？

A: イーター機構における公用語は英語です。フランス語は必須ではありません。

ただし、職種によってはフランス政府当局や地元との折衝が必要となりますので、フランス語が必須条件となる場合もあります。この場合は、募集時の job description にその旨の記載があります。

イーター機構の職員や家族は、現地で無料のフランス語のレッスンプログラムを受講することが可能です。



エコプロダクツ 2010 における JAEA 展示ブース(左) と ITER 計画展示の様子(右)